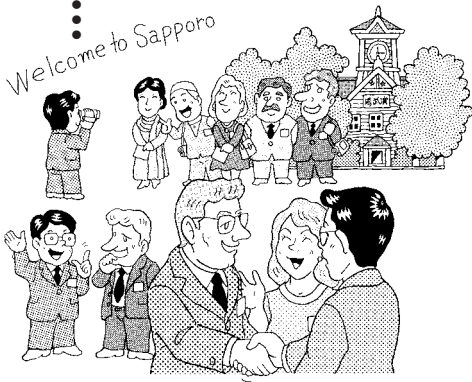


国際交流入門

あなたにとって国際化とは？

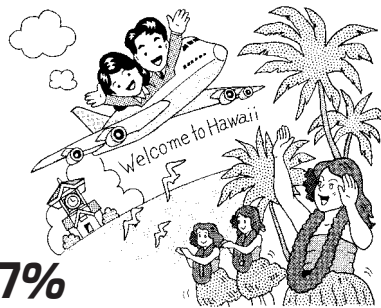
問1 あなたが思い浮かべる国際都市のイメージはどのようなことですか。

- 1位** 外国人と交流する機会が多いこと **53.2%**
- 2位** 国際会議・イベントが開かれること **47.4%**
- 3位** 外国人住民や留学生が多いこと **34.8%**
- 4位** 国際協力に貢献していること **33.4%**
- 5位** 案内表示が外国語でも書かれていること **32.7%**



問2 あなたに当てはまる身近な国際化は？

- 1位** 特にない **40.6%**
- 2位** 海外旅行や留学 **32.8%**
- 3位** 外国人の友人・知人がいる(いた) **25.7%**
- 4位** 外国語や外国文化を勉強 **20.4%**
- 5位** 外国人との交流事業への参加 **10.2%**



平成12年度第2回市政モニター調査より。
いずれも10の選択肢から複数回答。

「世界が狭くなっている」。

上で紹介した市政モニター調査は、無作為抽出で選ばれた約四千五百人の方に回答していただいたものです。世はまさに「国際化」時代。とはいえ、日ごろ外国人と触れ合う機会も少なく、国際交流といっても縁のない話と感じている方も少なくないようです。もちろん、国際交流の実践者は確実に存在し、身近な国際化に関する質問では、「外国人と仕事をしている(9.6%)」「発展途上国支援などの国際協力活動をしている(7.4%)」などの回答も見られます。

世界はどんどん狭くなっている

国際交流といっても実感がわかないし、きつかけもつかめない。そんな思いを抱いている方もいるのではないのでしょうか？

市民の皆さん一人ひとりにとって、また、この街にとって国際交流はどんな意味を持つのか、少し考えてみませんか？